

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

NF- 2232

US

J1040 U.S. PRO  
09/986998



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年11月15日

出願番号

Application Number:

特願2000-347544

出願人

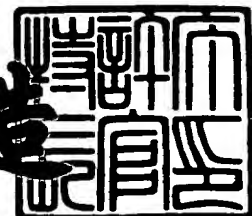
Applicant(s):

ワイケイケイ株式会社

2001年 9月 4日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3081768

【書類名】 特許願

【整理番号】 J29PN00128

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A45C 11/00

【発明者】

    【住所又は居所】 台湾台北市中山区錦洲街 1 5 7 巷 3 号

    【氏名】 川村 良次

【発明者】

    【住所又は居所】 富山県富山市日方江 1 2 6 2

    【氏名】 的場 博嗣

【特許出願人】

    【識別番号】 000006828

    【氏名又は名称】 ワイケイケ株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100091948

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 野口 武男

【選任した代理人】

    【識別番号】 100070529

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 縣 一郎

【選任した代理人】

    【識別番号】 100108350

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鐘尾 宏紀

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 011095

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704377

【包括委任状番号】 9705177

【包括委任状番号】 9704378

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 小物入れ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ソケット(10,10') と同ソケット(10,10') に差し込まれる差込み体(20,30,40,50) とからなる小物入れであって、

前記ソケット(10,10') は、表裏壁部(11,12)、相対する側壁部(13,13) を有する有底筒体からなり、その底部側に各側壁部(13,13) から表裏壁部(11,12) にかけて切り込まれた一对の係合爪係着開口(16,16) を備え、

前記差込み体(20,30,40,50) は、前記ソケット(10,10') の差込み口(15) よりも大きい断面をもつ摘み部(21)と、同摘み部(21)からソケット(10,10') の差込み方向に延びる小物載置プレート部(22)と、少なくとも前記小物載置プレート部(22)の先端部を挟んで所定の間隔をおいて差込み方向に延び、その外側側面に係合爪(25)を有する一对の弾性脚部(24,24) とを備えてなる、ことを特徴とする小物入れ。

【請求項 2】 前記ソケット(10,10') 及び差込み体(20,30,40,50) は合成樹脂材料からなる成形品である請求項 1 記載の小物入れ。

【請求項 3】 前記小物載置プレート部(22)の周縁に壁部(27)を有してなり、小物載置プレート部(22)と壁部(27)を包含する断面形態が、前記ソケット(10,10') の差込み口(15)断面と略一致してなる請求項 1 又は 2 記載の小物入れ。

【請求項 4】 前記差込み体(20,30,40,50) の小物載置プレート部(22)の裏面と、前記ソケット(10,10') の表裏壁部(11,12) のいずれかの内面には、前記差込み体(20)の差込み方向に延びる、互いに嵌合可能なガイド突条(18)又は凹溝(26)が形成されてなる請求項 1 又は 3 記載の小物入れ。

【請求項 5】 前記ソケット(10,10') の表裏壁部(11,12) の少なくとも一方が透明材料で形成されてなる請求項 2～4 のいずれかに記載の小物入れ。

【請求項 6】 前記差込み体(20,30,40,50) の小物載置プレート部(22)には、小物の一部が差し込まれ、その表裏面を挟着保持する小物保持ポケット(23,23',29)が形成されてなる請求項 1 又は 3～5 のいずれかに記載の小物入れ。

【請求項 7】 前記ソケット(10,10') 及び差込み体(20,30,40,50) の少なく

とも一方にストラップ取付部(14a,14b',28,28')を有してなる請求項1～6のいずれかに記載の小物入れ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、差込体とソケットとからなる名刺、カード類、写真、各種チケット、お守り、メモ用紙、鍵、小銭、タバコ、タバコの吸殻などの各種小物入れに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、例えば実開昭61-129509号公報に小物入れとしての機能をもつ引き出し付バックルが開示されている。このバックルは、一端にスリット状の入口を有する矩形薄箱体からなるバックル本体と、同バックル本体の中空部に出し入れできる引き出しとから構成されている。

【0003】

前記バックル本体の内壁面の一部に内方に向けて突出部が形成されている。前記引き出しは、前記バックル本体の中空部に小物類を収納可能とする所要の形状を有すると共に、前記バックル本体の前記突出部と弾性的に係脱可能な凹部を有している。具体的には、前記引き出しは、外側側面の一部に凹部を有する一対の脚部の一端を連結杆をもって連結した略C字状をなす金属製枠体や、矩形プレート of 周壁の一部に内方に向かう凹部を有する金属製皿体からなる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上記公報に開示されているバックルでは、引き出しが略C字状の金属製枠体や、矩形状の金属製皿体の場合に、バックル本体と引き出しとの係合、離脱がバックル本体の内部に形成された突出部と、引き出しの脚部又は壁部に形成された凹部との間で弾性的になされる。そのため、それらの係合、離脱は引き出しのバックル本体に対する差込み及び引出しの際に、引き出しの脚部又は壁部がバックル本体の内部に形成された突出部に乗り上げた状態で摺動できなければならず、そ

のため上下脚部又は上下壁部が弾性変形できるように設計する必要がある。

【0005】

また、バックル本体に対して引き出しが係合したのちに、突出部と凹部との係合を円滑に解除しようとするれば、それらの係合強度をむやみに上げることができず、係合強度には自ずと限界が生じる。更には、係合を解除して引き出しをバックル本体から引き出そうとするときは、係合を解除するための操作を行うことなく、引き出しを単にバックル本体から引き出すだけであるため、引き出し時にはバックル本体と引き出しとの間に無理な力が働き、これを繰り返すことにより、突出部と凹部との間に磨耗や損傷が生じて、係合強度が減少したり、引き出しの出し入れ操作が不可能となりやすい。

【0006】

本発明はかかる従来の課題を解決すべくなされたものであり、差込み体とソケットの間に十分な係合強度を確保すると共に、繰り返しの使用にも損傷がなく所要の係合強度を維持することができ、小物類の収納保持が確実になされ、ソケットに対する差込み体の外部からの係脱操作が容易で使いやすい小物入れを提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本件請求項1に係る発明は、差込み体と同差込み体が差し込まれるソケットとからなる小物入れであって、前記ソケットは、表裏壁部、相対する側壁部を有する有底筒体からなり、その底部側に各側壁部から表裏壁部にかけて切り込まれた一对の係合爪係着開口を備え、前記差込み体は、前記ソケットの差込み口よりも大きい断面をもつ摘み部と、同摘み部からソケットの差込み方向に延びる小物載置プレート部と、少なくとも前記小物載置プレート部の先端部を挟んで所定の間隔をおいて差込み方向に延び、その外側側面に係合爪を有する一对の弾性脚部とを備えてなることを特徴とする。

【0008】

かかる構成を備えた小物入れを使用する場合に、差込み体を小物載置プレート部の先端側から、弾性脚部を内側へ弾性変形させながら、ソケットの差込み口へ

と差し込む。前記差込み体の摘み部の端縁が前記ソケットの差込み口の端縁に当接しようとするとき、同差込み体の弾性脚部の外側側面に形成された係合爪が前記ソケットの開口に達し、弾性脚部が外側へと弾性復帰して、前記係合爪が前記開口に嵌着係合すると共に、その外側面が外部に露呈する。

## 【 0 0 0 9 】

ソケットの前記開口は内側に切り込まれて形成されているため、前記差込み体をソケットから引き出す際には、前記開口から露呈する前記係合爪の部分を内側へと指で押圧操作し、前記開口と係合爪との係合を解除しながら前記差込み体を引き出す。このように外部操作により、容易に且つ確実に差込み体をソケットから引き出すことができる。

## 【 0 0 1 0 】

また、このように差込み体とソケットとの係合を外部からの操作により確実に解除することができるため、例えば前記開口及び係合爪の大きさや形状、同係合爪が形成されている弾性脚部の弾性強度などを変更することにより、前記係合爪と開口との係合強度を用途に応じて所要の強さに設定することが可能となる。

## 【 0 0 1 1 】

本件請求項 2 に係る発明によれば、前記差込み体及びソケットは合成樹脂材料からなる成形品である。このように合成樹脂材料を用いて、例えば射出成形などにより成形することで、廉価に製造が可能であり、製造能率も向上する。なお、合成樹脂材料としては、例えばポリオキシメチレン、ポリ塩化ビニル、ポリプロピレン、ポリスチレン、ABS 樹脂、アクリル樹脂、アセタール樹脂などを使用することができる。

## 【 0 0 1 2 】

本件請求項 3 に係る発明は、前記小物載置プレート部の周縁に壁部を有してなり、小物載置プレート部と壁部を包含する断面形態が、前記ソケットの差込み口断面と略一致している。このように小物載置プレート部の周縁に壁部を形成することにより、同小物載置プレート部内に小物類を載置収納してソケットに差し込む際にも、小物載置プレート部から小物類が落下することがなく、差し込み及び引出し時の操作性が向上する。また、かかる壁部をもつ差込み体に耐熱性樹脂を用い

る場合には、タバコの吸殻入れなどにも使用が可能である。

【 0 0 1 3 】

本件請求項 4 に係る発明は、前記差込み体の小物載置プレート部の裏面と、前記ソケットの表裏壁部のいずれかの内面に、前記差込み体の差込み方向に延びる、互いに嵌合可能なガイド突条又は凹溝が形成されていることを特徴としている。互いに嵌合可能なガイド突条又は凹溝を形成することにより、差込み体をソケット内に差込み、又は引き出す際に、前記ガイド突条と凹溝との嵌合により、差込み体がソケットに対して真っ直ぐに案内されて、円滑な差込み及び引出し操作を可能にする。

【 0 0 1 4 】

本件請求項 5 に係る発明は、前記ソケットの表裏壁部の少なくとも一方が透明材料で形成されていることを特徴としている。このようにソケットの表裏壁部を透明材料で形成することにより、内部に収納されている小物類を外部から透視することができ、例えば内部にネームカードを収納する場合には、スーツケース等のタグホルダーとして使用することができる。

【 0 0 1 5 】

本件請求項 6 に係る発明は、前記差込み体の小物載置プレート部には、小物の一部が差し込まれ、その表裏面を挟着保持する小物保持ポケットを形成している。このような小物保持ポケットを形成することにより、小物を確実に保持することができ、ソケットへの差込み体の脱着の際にも小物が差込み体から脱落することがなく、脱着の操作も容易になる。また例えば、キャッシュカードや名刺などの各種カード類を保持するためのカード保持ポケット、或いはタバコや箱入りキャンディなどを収容保持するための箱体保持ポケットを形成した場合には、カード類や各種の箱類を確実に且つ安定した姿勢で保持することができる。

【 0 0 1 6 】

本件請求項 7 に係る発明は、前記差込み体及びソケットの少なくとも一方にストラップ取付部を有している。かかるストラップ取付部を利用して、紐状や帯状、ループ状のストラップを小物入れに取り付けることにより、本発明の小物入れを携帯電話やバック等に取り付けて使用したり、首から下げて使用することもで



きる。或いは、差込み体及びソケットの両方にストラップ取付部を形成し、ストラップの両端をそれぞれ差込み体及びソケットに取り付ければ、ストラップを腰部などに巻き付けた状態で小物入れを保持することができる。

#### 【0017】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面を参照して具体的に説明する。

図1は本発明の好適な実施例による小物入れの斜視図であり、本発明の小物入れは、ソケット10と同ソケット10に差し込まれる差込み体20とから構成されている。

#### 【0018】

図2は前記ソケット10の上面図、図3は同ソケット10の側面図であり、図4は図3におけるIII-III線に沿った矢視断面図である。

前記ソケット10は表裏壁部11, 12、相対する側壁部13, 13、及び底部14を有する、細長い矩形枠断面をもつ有底筒体からなり、前記底部14に対向する端部が外部に開放されており、後述する差込み体20の差込み口15を構成している。更に、前記ソケット10の底部14寄りには、前記側壁部13, 13から表裏壁部11, 12にかけて弧状に切り込まれた一对の係合爪係着開口16, 16を備えている。

#### 【0019】

ソケット10の底部14は一部が外部に向けて薄肉に形成されたストラップ取付部14aが延設されており、同ストラップ取付部14aには表裏側に貫通するストラップ取付孔14bが形成されている。このストラップ取付孔14bには、図1に示すように、細幅ループ帯状のストラップSを取り付けることができる。ソケット10の裏壁部12の内面には、差込み方向に延びる中心線に沿ってガイド突条18が形成されている。

#### 【0020】

図5は上記差込み体20の上面図、図6は同差込み体20の側面図、図7は同背面図であり、図8は図5におけるV-V線に沿った矢視断面図、図9は図5におけるVI-VI線に沿った矢視断面図である。更に、図10は前記ソケット10と

前記差込み体 2 0 との係合時における内部構造を示す一部破断図である。

前記差込み体 2 0 は、細長い略矩形状の板片からなる摘み部 2 1 を端部に備えた全体が矩形のプレート状をなしている。前記摘み部 2 1 は、前記ソケット 1 0 の差込み口 1 5 の端面外周寸法とほぼ同一の端面外周形状をもち、前記差込み口 1 5 の開口断面よりも僅かに大きな断面寸法を有している。この摘み部 2 1 の表面には滑り止め用の凹凸面 2 1 a が形成されている。

#### 【 0 0 2 1 】

同摘み部 2 1 からは、ソケット 1 0 の差込み方向に小物類を載置する小物載置プレート部 2 2 が一体に延設されている。このプレート部 2 2 の差込み方向の長さ寸法は、前記ソケット 1 0 の差込み口 1 5 から底部 1 4 の内壁面までの長さとはほぼ等しく設定されている。本実施例では小物類として、例えば図 1 に示すようにカード C を収納するため、小物載置プレート部 2 2 の摘み部 2 1 側半部の差込み方向に沿った両側縁部とその隅部にかけて、カード C の一部が差し込まれ、その表裏面を挟着保持するカード保持ポケット 2 3 が形成されている。同カード保持ポケット 2 3 は、前記小物載置プレート部 2 2 に平行に配されてカード C の表面を保持するカード面保持部 2 3 a と、同カード面保持部 2 3 a 及び前記小物載置プレート部 2 2 の各外側端縁を連結する連結壁部 2 3 b とからなり、内側を開放した断面横 L 字型をなしている。更に、前記小物載置プレート部 2 2 の差込み端側半部の周縁には、カード C を支持し得る程度の低い周縁壁部 2 7 が形成されている。

#### 【 0 0 2 2 】

前記小物載置プレート部 2 2 の前記カード保持ポケット 2 3 が形成されている部位には、同ポケット 2 3 とほぼ同等の面積をもつ窓孔 2 2 a が形成されている。従って、前記カード保持ポケット 2 3 の裏面側は L 字型の内壁面となる。また、カード保持ポケット 2 3 の左右の連結壁部 2 3 b の外側面は前記小物載置プレート部 2 2 の左右から突出しており、その左右の連結壁部 2 3 b の外側面間の寸法は、ソケット 1 0 への差込み口 1 5 の開口幅にほぼ等しく設定されている。

#### 【 0 0 2 3 】

更に、前記小物載置プレート部 2 2 の差込み端側半部を挟んだ左右側部に、同

小物載置プレート部 2 2 と所定の間隔をおいて、一对の弾性脚部 2 4, 2 4 が、前記カード保持ポケット 2 3 の左右の上記連結壁部 2 3 b の突出部分から差込み方向に延設されており、各弾性脚部 2 4, 2 4 の先端部には、それぞれ外側に膨出する係合爪 2 5, 2 5 を有している。この弾性脚部 2 4, 2 4 は、前記ソケット 1 0 に差込み体 2 0 を差し込んだときに、前記係合爪 2 5, 2 5 が前記ソケット 1 0 の係合爪係着開口 1 6, 1 6 の位置にくるような長さに設定されており、図示実施例では小物載置プレート部 2 2 の略 1 / 4 の長さに設定されている。

#### 【 0 0 2 4 】

前記係合爪 2 5, 2 5 は平面視で略紡錘形をなし、その摘み部 2 1 側の外側端部に爪部 2 5 a, 2 5 a が形成されており、同差込み体 2 0 をソケット 1 0 に差し込んだとき、前記係合爪係着開口 1 6, 1 6 の前記差込み口 1 5 側の側壁端縁に前記係合爪 2 5, 2 5 の各爪部 2 5 a, 2 5 a が係合する。更に、前記小物載置プレート部 2 2 の背面中央部には、同小物載置プレート部 2 2 の差込み方向に延びる中心線に沿った凹溝 2 6 が形成されており、同凹溝 2 6 にはソケット 1 0 のガイド突条 1 8 が嵌合する。

#### 【 0 0 2 5 】

更に、本実施例にあっては、ソケット 1 0 に差込み体 2 0 を差し込んだとき、ガタがないように差込み体 2 0 の肉厚及び左右の幅寸法をソケット 1 0 の差込み空間に嵌着する寸法に設定されている。すなわち、上記小物載置プレート部 2 2 のカード保持ポケット 2 3、脚部 2 4 及び壁部 2 7 の表裏間寸法をソケット 1 0 の差込み口 1 5 の高さと同しく、またカード保持ポケット 2 3 及び脚部 2 4 の左右幅を差込み口 1 5 の幅寸法に等しく設定している。

#### 【 0 0 2 6 】

上記ソケット 1 0 及び差込み体 2 0 はそれぞれ熱可塑性合成樹脂材料、例えばポリオキシメチレン、ポリ塩化ビニル、ポリプロピレン、ポリスチレン、ABS 樹脂、アセタール樹脂、アクリル樹脂、ポリカーボネート、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステルなどから射出成形により成形可能である。

#### 【 0 0 2 7 】

前記小物入れの差込み体 2 0 をソケット 1 0 の差込み口 1 5 から差し込むと、

差込み体 2 0 の凹溝 2 6 にソケット 1 0 のガイド突条 1 8 が嵌合し、前記凹溝 2 6 が前記ガイド突条 1 6 に案内されて、差込み体 2 0 をソケット 1 0 の側壁部 1 3, 1 3 に沿って案内しながら、円滑に差し込むことができる。

#### 【0028】

このとき、差込み体 2 0 の弾性脚部 2 4, 2 4 は内側へ弾性変形した状態でソケット 1 0 内を移動する。前記差込み体 2 0 の摘み部 2 1 の端面が前記ソケット 1 0 の差込み口 1 5 の端縁に当接すると同時に、前記弾性脚部 2 4, 2 4 の係合爪 2 5, 2 5 が前記ソケット 1 0 の係合爪係着開口 1 6, 1 6 に達し、前記弾性脚部 2 4, 2 4 が弾性復帰して、図 1 0 に示すように、その係合爪 2 5, 2 5 が一部を外部に露呈させた状態でソケットの係合爪係着開口 1 6, 1 6 に係合する。このとき、本実施例にあっては、前記係合爪 2 5, 2 5 の爪部 2 5 a, 2 5 a が前記係合爪係着開口 1 6, 1 6 の端縁に係合するため、強力に係合可能である。

#### 【0029】

前記小物入れの差込み体 2 0 を引き出す場合には、前記ソケット 1 0 の係合爪係着開口 1 6, 1 6 から露呈している係合爪 2 5, 2 5 の部分を指で内側へ押しこみながら、差込み体 2 0 の摘み部 2 1 を引っ張ると、前記弾性脚部 2 4, 2 4 が内側へ弾性変形して前記係合爪 2 5, 2 5 が前記係合爪係着開口 1 6, 1 6 から内部へと押し込まれて係合が外れる。その状態で更に差込み体 2 0 を引っ張れば、ソケット 1 0 から差込み体 2 0 を容易に引き出すことができる。この差込み体 2 0 を引き出す場合にも、前記差込み体 2 0 の凹溝 2 6 がソケット 1 0 のガイド突条 1 8 に案内され、円滑に引き出すことができる。

#### 【0030】

上述したように、本実施例にあっては、ソケット 1 0 と差込み体 2 0 との係合が、差込み体 2 0 の弾性脚部 2 4 に形成された係合爪 2 5 と、ソケット 1 0 の側壁部 1 3 から表裏壁部 1 1, 1 2 にかけて弧状に切り込まれた係合爪係着開口 1 6 との係合によりなされるため、前記係合爪 2 5 及び係合爪係着開口 1 6 の形状を任意に変更することにより、その係合強度も任意に変更できる。また、前記係合爪係着開口 1 6 から係合爪 2 5 を積極的に操作しない限りは差込み体 2 0 がソ

ケット 1 0 から簡単に抜け出ることがない。

【 0 0 3 1 】

係合爪 2 5 を積極的に操作しないときに、不用意に前記係合爪 2 5 が係合爪係着開口 1 6 からソケット 1 0 の内部に押し込まれないようにするには、係合爪係着開口 1 6 との係合時に係合爪 2 5 の外側面がソケット 1 0 から外側に突出しない形状・寸法を採用することが好ましい。差込み体 2 0 を積極的にソケット 1 0 から引き出そうとするときは、係合爪係着開口 1 6 から露呈している係合爪 2 5 を押圧することにより、容易に係合を外すことができ、差込み体 2 0 の引出しが容易になされる。

【 0 0 3 2 】

このように、前記係合爪 2 5 と係合爪係着開口 1 6 とは、前記弾性脚部 2 4 の弾性変形のしやすさや、前記係合爪 2 5 の大きさなどを適宜、設計することにより、両者の係合強度を所望の値に設定でき、ソケット 1 0 と差込み体 2 0 との係脱操作を最適なものとすることができる。また、繰り返し使用しても、弾性脚部 2 4 の弾性力が低下することではなく、所望の係合強度を長期間にわたって確保できる。

【 0 0 3 3 】

なお、本発明の小物入れは、特に上述したようにカード入れとして用いる場合に、ソケット 1 0 の表壁部 1 1 を透明の樹脂材料で構成し、或いは表壁部 1 1 に窓部を形成することにより、内部のカードを外側から視認でき、タグホルダーとしての利用に好適である。

【 0 0 3 4 】

更に、ソケット 1 0 の表裏壁部 1 1, 1 2 の間隔は所望の寸法に設定でき、同間隔を大きくすると共に、図 1 1 に示す差込み体 3 0 のように、少なくとも小物載置プレート部 2 2 の摘み部側半部の差込み方向に沿って両側縁部に高さの高い箱体保持ポケット 2 9 を形成することにより、タバコや箱入りキャンディなどの小箱類を収納保持することもでき、或いは例えば上記窓孔 2 2 a を形成しない場合には、鍵や小銭などの小物を収納することもできる。

【 0 0 3 5 】

また、図 1 2 に示す差込み体 4 0 のように、摘み部 2 1 にもストラップ取付孔 2 8 を形成し、差込み体 4 0 及びソケット 1 0 を一本のストラップの両端に取り付けて使用することもできる。

【0 0 3 6】

更に、図 1 3 に示す小物入れでは、差込み体 5 0 及びソケット 1 0' にそれぞれ、広幅テープ状ストラップを挿通可能な長尺スリット状をなすストラップ取付孔 2 8'、1 4 b' を形成している。この長尺スリット状をなすストラップ取付孔 2 8'、1 4 b' を用いて、広幅テープ状ストラップの両端にそれぞれ差込み体 5 0 とソケット 1 0' とを取りつけることにより、前記ストラップをベルトとして腰部を締め付けると共に小物入れを腰部などに固定させることができる。

【0 0 3 7】

また、図 1 3 に示す差込み体 5 0 では、小物載置プレート部 2 2 の両側縁部の摘み部 2 1 側と差込み端側の両側に、それぞれ小物載置プレート部 2 2 の差込み方向に沿って同方向の略 1 / 5 の長さでカード保持ポケット 2 3' が形成されており、残りの周縁には低い周縁壁部 2 7 が形成されている。このように小物載置プレート部 2 2 の摘み部側と差込み端側との両側にカード保持ポケット 2 3' を形成すれば、カード C の四隅を挟着保持することができ、カード C が小物載置プレート部 2 2 から滑落することもなく、より確実にカード C を位置決め保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の好適な実施例による小物入れのソケット及び差込み体の斜視図である。

【図 2】

前記ソケットの上面図である。

【図 3】

前記ソケットの側面図である。

【図 4】

図 3 における III-III 線に沿った矢視断面図である。

【図 5】

前記差込み体の上面図である。

【図 6】

前記差込み体の側面図である。

【図 7】

前記差込み体の背面図である。

【図 8】

図 5 における V-V 線に沿った矢視断面図である。

【図 9】

図 5 における VI-VI 線に沿った矢視断面図である。

【図 1 0】

上記実施例によるソケットと差込み体との係合時における内部を示す一部破断図である。

【図 1 1】

上記実施例の変形例による差込み体の斜視図である。

【図 1 2】

上記実施例の他の変形例による差込み体の一部を示す上面図である。

【図 1 3】

上記実施例の更に他の変形例によるソケット及び差込み体の斜視図である。

【符号の説明】

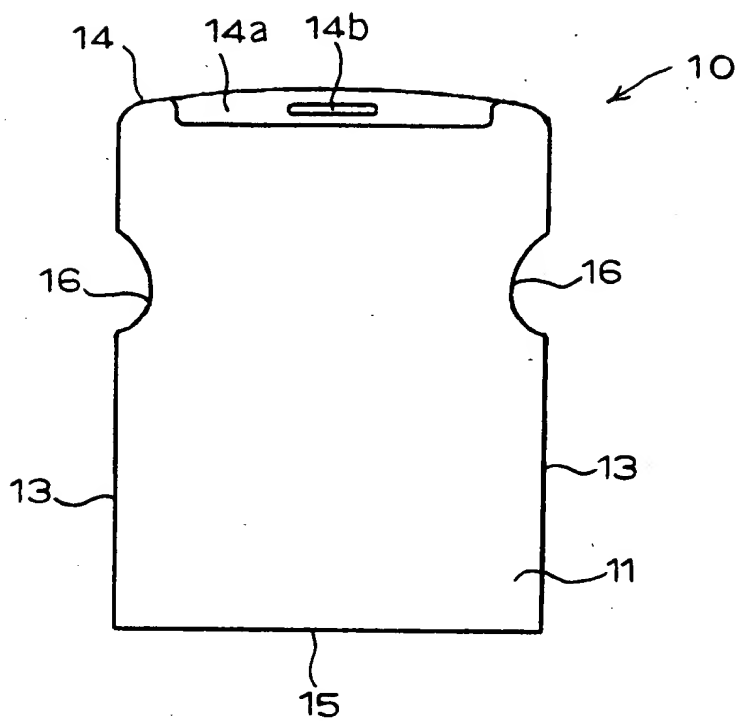
1 0	ソケット
1 1	表壁部
1 2	裏壁部
1 3	側壁部
1 4	底部
1 4 a	ストラップ取付部
1 4 b, 1 4 b'	ストラップ取付孔
1 5	差込み口
1 6	係合爪係着開口

1 8	ガイド突条
2 0	差込み体
2 1	摘み部
2 2	小物載置プレート部
2 2 a	窓孔
2 3	カード保持ポケット
2 3 a	カード面保持部
2 3 b	連結壁部
2 4	弾性脚部
2 5	係合爪
2 5 a	爪部
2 6	凹溝
2 7	壁部
2 8, 2 8'	ストラップ取付孔
2 9	箱体保持ポケット

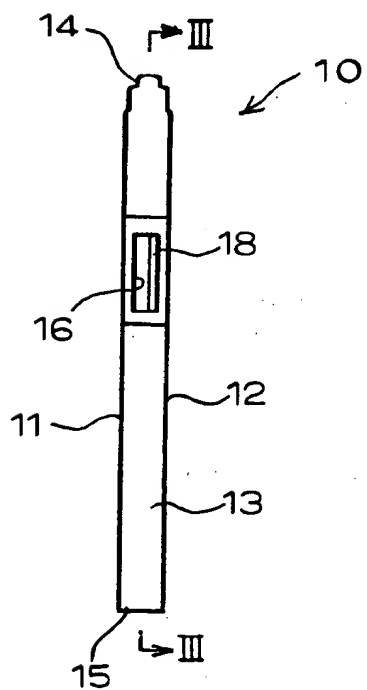




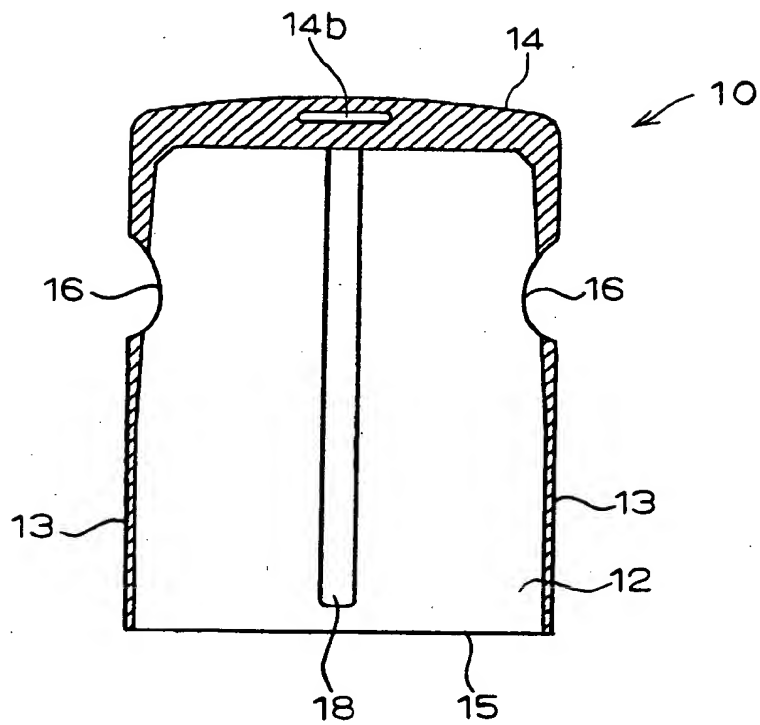
【図 2】



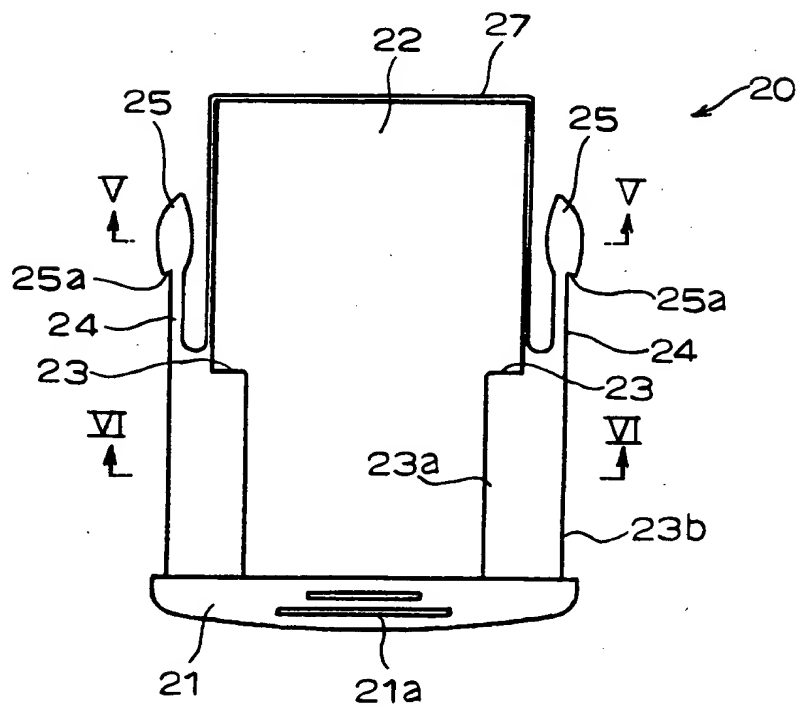
【図 3】



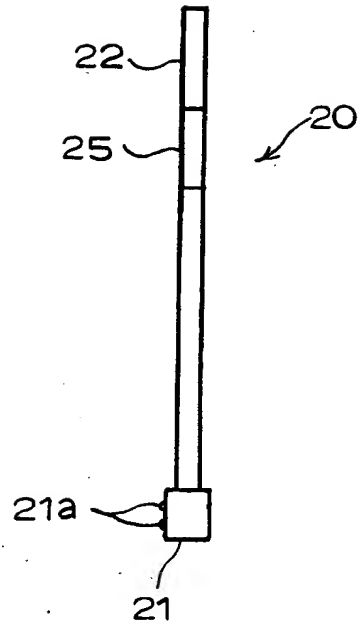
【図 4】



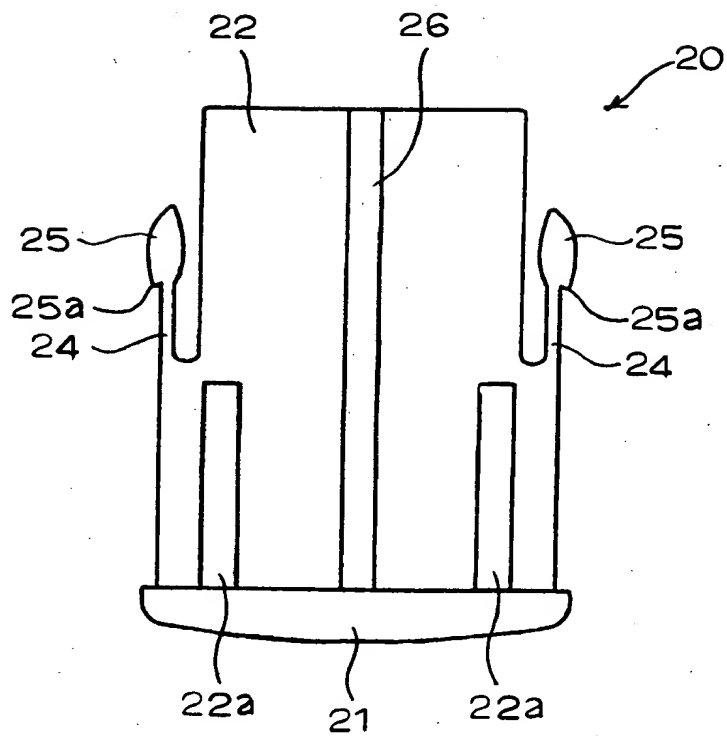
【图 5】



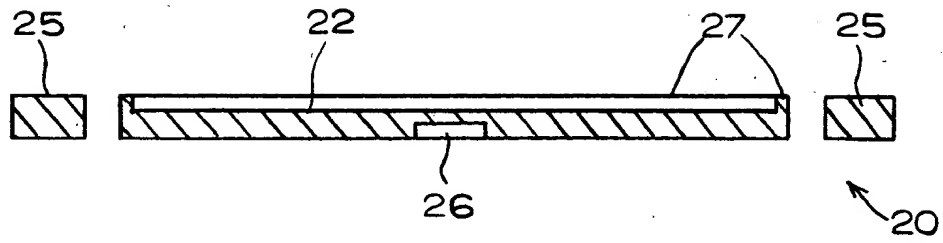
【図6】



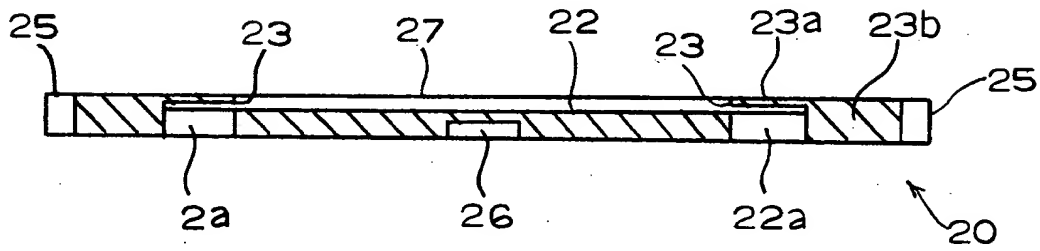
【図7】



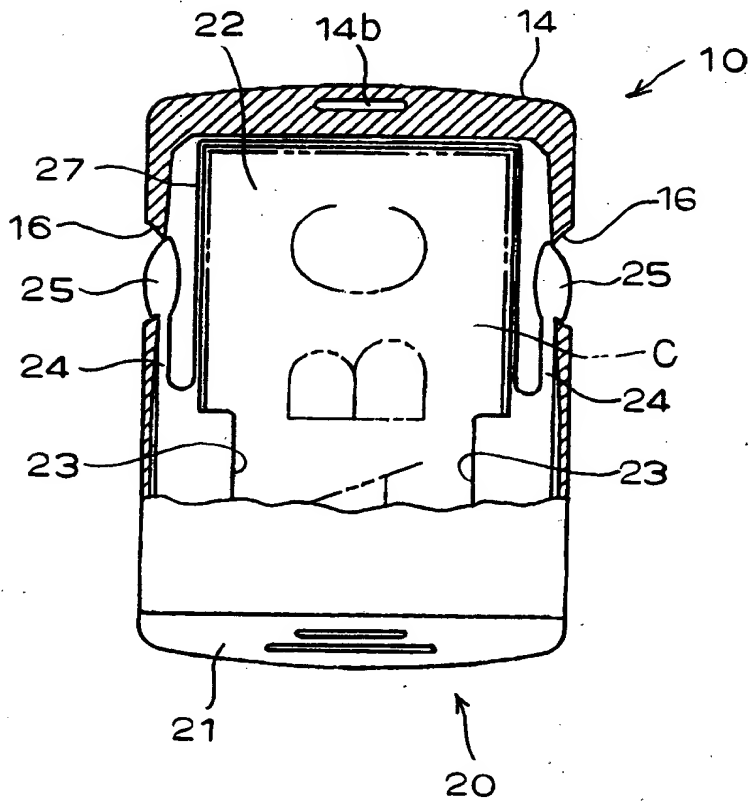
【図 8】



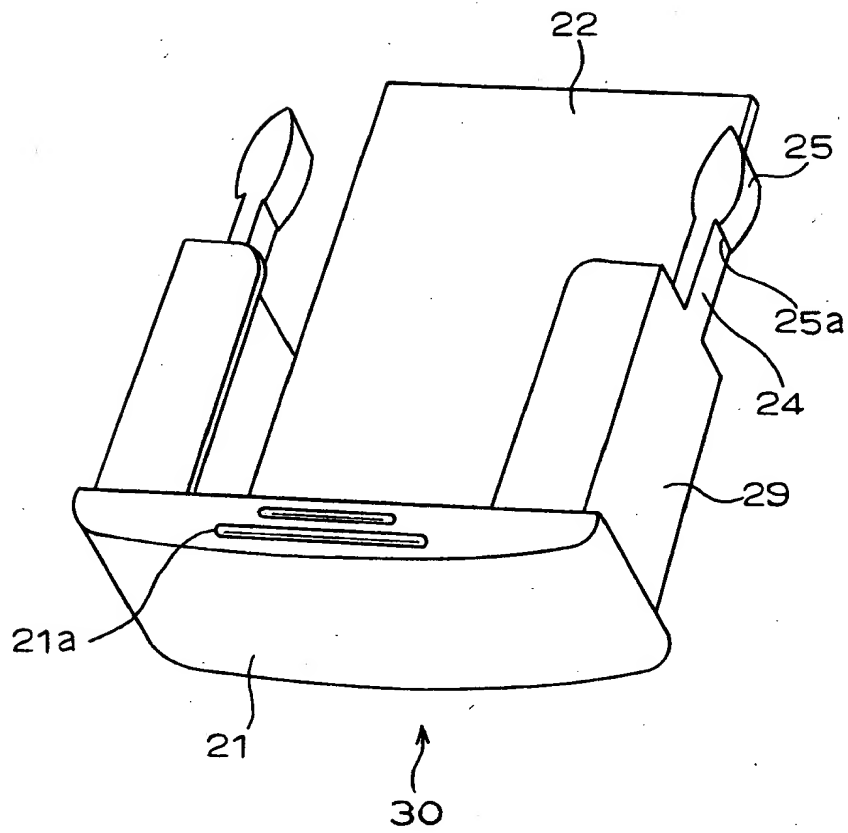
【図 9】



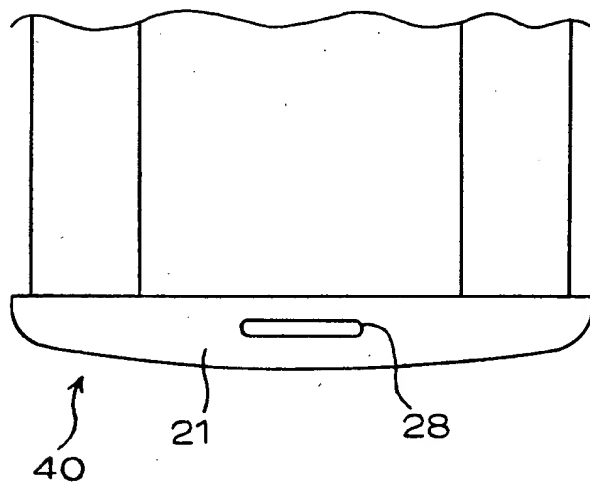
【図 10】



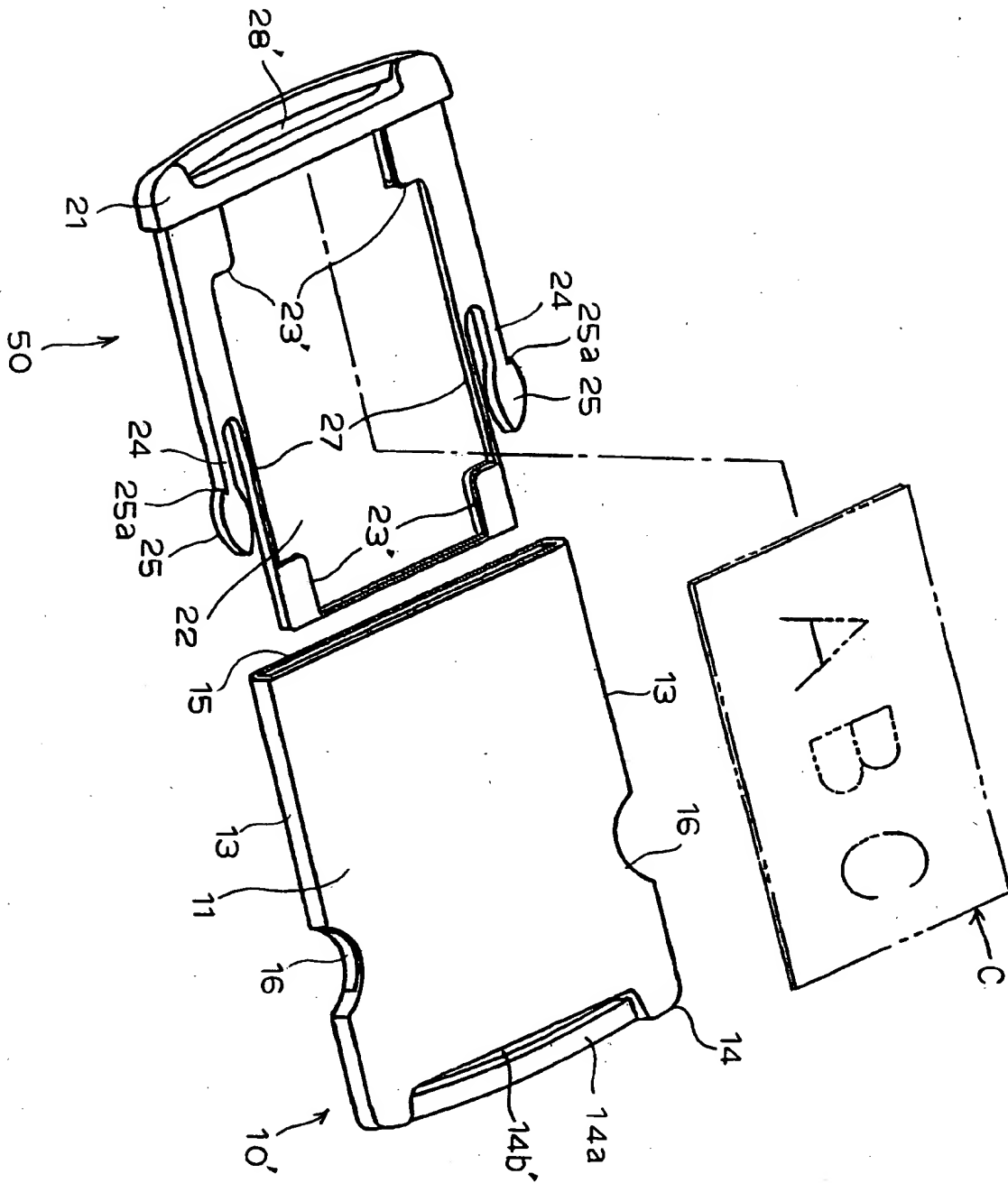
【図 11】



【図 12】



【図 1 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 差込み体とソケットの間に十分な係合強度を確保すると共に、繰り返し使用しても前記係合強度を維持でき、小物類を収納しやすく、ソケットに対する差込み体の外部からの係合、離脱操作が容易で使い易い小物入れを提供する。

【解決手段】 小物入れは、ソケット(10)と同ソケット(10)に差し込まれる差込み体(20)とからなる。前記ソケット(10)は、表裏壁部(11,12)、相対する側壁部(13,13)を有する有底筒体からなり、その底部(14)側に各側壁部(13,13)から表裏壁部(11,12)にかけて切り込まれた一对の係合爪係着開口(16,16)を備えている。差込み体(20)は、ソケット(10)の差込み口(15)よりも大きい断面をもつ摘み部(21)と、同摘み部(21)からソケット(10)の差込み方向に延びる小物載置プレート部(22)と、少なくとも前記小物載置プレート部(22)の先端部を挟んで所定の間隔をおいて差込み方向に延び、その外側側面に係合爪(25)を有する一对の弾性脚部(24)とを備えている。

【選択図】 図 1



特 2000-347544

## 認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-347544
受付番号	50001471885
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0093
作成日	平成12年11月16日

### <認定情報・付加情報>

【提出日】 平成12年11月15日

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006828]

1. 変更年月日 1994年 8月19日  
[変更理由] 名称変更  
住 所 東京都千代田区神田和泉町1番地  
氏 名 ワイケイケイ株式会社